

元丈の里 6次産業 活性化構想 (三重県多気町波多瀬・元丈の里営農組合)

【地域農業の課題解決と6次産業 活性化構想】

現在の多気町波多瀬地区（通称・・・「元丈の里」）は、農業者の高齢化、後継者不足などが原因で地域の大切な地域資源（水・土・里）の荒廃が危惧されています。これらの諸問題を解決しようと、平成20年12月に小規模な農家の集合体ではありますが、集落営農組合「元丈の里 営農組合」を設立して地域の課題解決に取り組み始めたところでありませす。一方、当地区は江戸時代に活躍した本草学者「野呂元丈」誕生の地として、早くから地域住民が主体となり地域活性化施設「元丈の館」を運営し、ハーブ・薬草などを活用した地域づくりを進めて参りました。営農組合と致しましては、この特色ある地域性や「元丈の館」と、農業生産を結びつけることで地域農業と地域社会全体が活性化出来ないかと模索を致しております。そこで、旧波多瀬保育園施設を元丈の里6次産業活性化施設『元丈の里 ゆめ工房』として有効活用し、生産から加工、販売に至る工程を農家のみならず地域ぐるみで行なう「元丈の里6次産業 活性化構想」に取り組んでいます。企業連携として(株)辻製油や農業法人「まめや」と連携し、新規農産物の生産、加工、販売にも取り組み、JAや行政機関協力のもと公共施設や近隣直売所での消費、販売の拡大を図って参りたいと考えています。このことで将来も地域の農地を荒すことなく最大限活用し、若い世代の人々にも魅力を感じて頂き、意欲をもって取り組んで頂けるような農業・農村社会の実現を願っています。

